

議事概要

作成者:JR 東日本 千葉市

件名	第4回 土気踏切勉強会		
開催年月日	2022年7月14日(木) 19時00分~20時30分	場所	土気公民館
主催者	千葉市・JR千葉支社		
出席者	千葉市道路計画課、JR東日本千葉支社保線課 土気地区町内自治会連絡協議会、土気町内会、 山の谷自治会、楓台自治会、梅ヶ丘自治会、土気南中央町内会		
打合せ内容			
1 開会挨拶 2 議事 (1) 土気踏切の迂回路について (2) 大網街道の歩道について(動画の視聴) (3) その他ご意見等			
<p>(1)土気踏切の迂回路について</p> <ul style="list-style-type: none">・[大網街道上の起点A ⇒ ミニストップ] 土気踏切を利用した場合と比べて距離は約20m程度長くなるが、ほとんど変わらない。・[大網街道上の起点A ⇒ ウエルシア] 土気踏切を利用した場合と比べて距離は約220m程度長くなる。・迂回路については、「大網街道の歩きづらさ」についてのご意見をいただいていることから、今後、大網街道の課題について意見交換したい。 <p>【地元からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・遠回りになるというより、大網街道の歩道が狭く安心して歩けないことが問題。 <p>(2)大網街道の歩道を撮影した動画を視聴 視聴範囲(起点Aからコインランドリー前交差点までの区間の上り線・下り線歩道部)</p> <p>【地元からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・雑草が伸びている箇所がある。草刈りの管理は誰がどの程度行っているのか。・通勤時間帯には歩いている人もいると思う。この動画には、ほとんど歩行者が映っていないが、撮影した時間帯はいつか。・側溝の蓋は、ガタつきがあったり隙間も空いているため、足や杖が穴にはまり、けがをする恐れがある、特に夜は街灯も少なく足元が見えづらいので歩きづらく危ない。・シルバーカーやベビーカー等を使って歩いている状況を撮影してほしい。歩道の狭さや段差等による歩きづらさがより伝わると思う。・側溝の勾配が改善されなければ安全とは言えない。改修には多額の費用がかかるのではないか。・今後、整備事例を示すと言うが、整備には十数年単位で時間を要するのではないか。・大網街道の課題が改善されるまでは踏切を存続すべき。			

【市・JRからの所見】

- ・大網街道は市が管理。草刈りは雑草の最盛期に実施しており、頻度は年に1回が一般的。
- ・動画は7月第1週の平日午前中に撮影したもの。
- ・大網街道の歩道形態は旧来の整備手法によるもので歩道上に側溝蓋が並んでいるため、歩道の切り下げ部では、勾配がきつい所がある。
- ・照明灯は、起点Aからコインランドリーまでの約470m区間に5カ所設置している。
原則、交差点や横断歩道、カーブ箇所などに設置している。
- ・歩道の対応策には、草刈りや舗装の補修など短期的にできるもののほか、歩道拡幅など用地取得を伴い時間を要するものなどがあり、ご指摘の課題を踏まえ、具体的にどのような対応ができるのか整理したいと考えている。
- ・歩道整備には、道路境界を確認する必要があるとあり、現在、資料を調査している。
- ・整備手法については、今後、事例等をお示ししご説明したい。

(3)その他

【地元からの意見】

- ・勉強会の頻度は、1か月に1回、2か月に1回でもいいと思う。
- ・踏切は障害物検知装置を設置して安全性を向上すれば良いのでは。
- ・線路の北側のエリアでは、商業店舗がなく買い物に困っているため、買い物ができるようにするとか送迎車を導入するなど他にできることはないのか。
- ・踏切廃止の方針を見直しできないのか。
- ・勉強会はいつまで続けるのか。

【市・JRからの所見】

- ・今後の勉強会では、踏切利用実態の調査結果や大網街道等の迂回路の課題などの整理を行いたいと考えており、いつまでやるかの期限は設けていない。引き続きご協力いただきたい。
- ・次回勉強会は8月上旬の開催を考えていたが、ご意見を頂いたため、日程を検討し別途ご連絡する。

以上